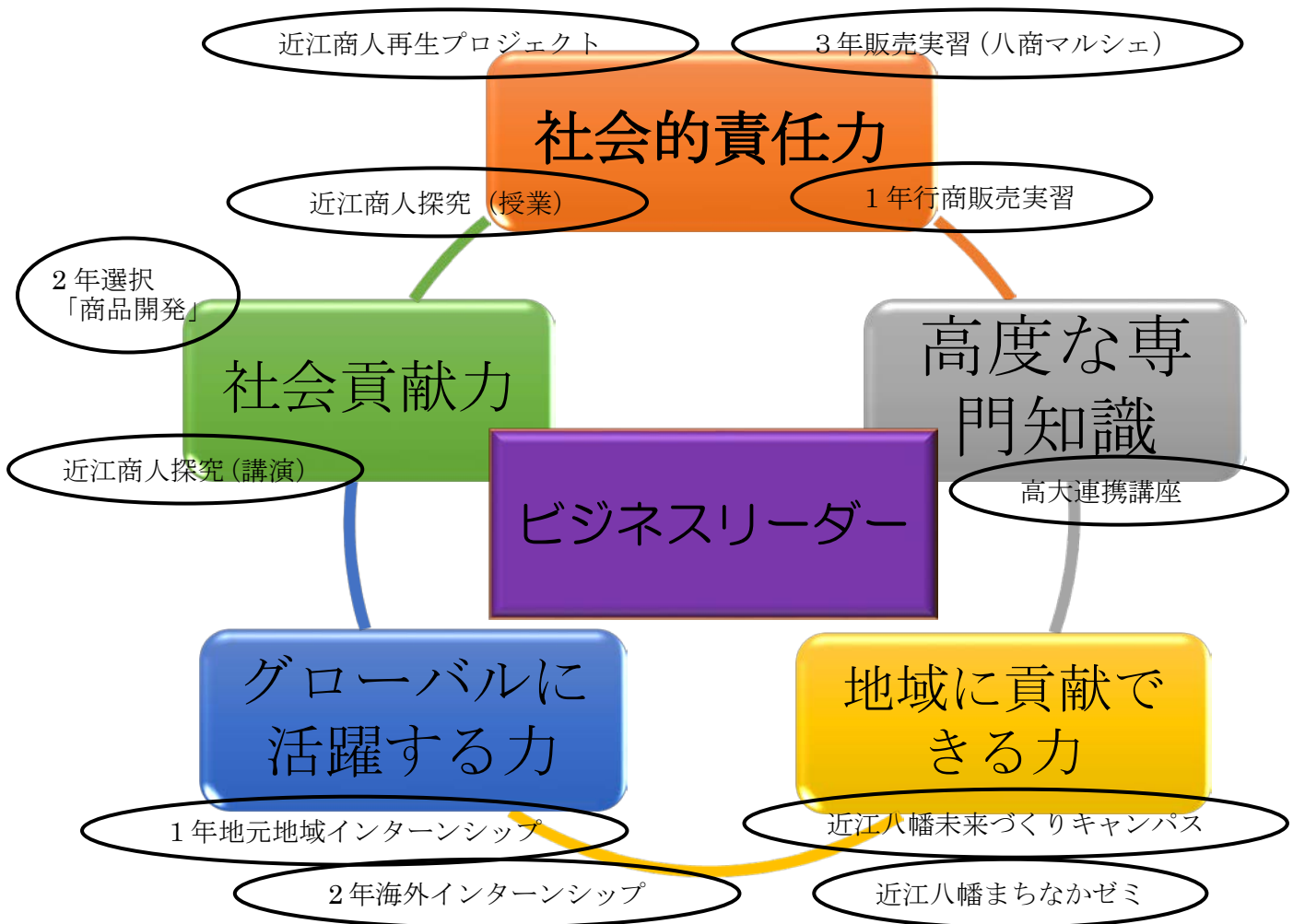


5月30日よりSPHの本格的な取り組みがスタートし、6月には運営指導委員（大学の先生や企業の方）から本校での取り組みへのアドバイスをいただきました。今年取り組みの中で私たちが一番大切にするのは、「どんな力をつけるか」です。「ただやっただけ…」にならないよう、高い意識を持って取り組んでください。

また、今年で5年目になる「近江商人再生プロジェクト」は今年も取り組みの中心となります。毎年大きな成果や成長がみられるプロジェクトですので、今年も期待しています。裏面には下見に行ってきた様子を載せましたので、読んでみてください。他校の見習うべきところは素直に取り入れることも大切です。



SPH事業で育てる力と主な活動



※ **〇〇の力** は身につけたい力、**〇** は取り組みの内容を表します。

長野商業高校と桐生商業高校へ行ってきました

S P H推進室の担当者2名が、第5回近江商人再生プロジェクトの下見のために長野商業高校（通称：長商^{ちやうしやう}）と桐生商業高校（通称：桐商^{きりしやう}）に行ってきました。両校とは、プロジェクトの当日に学校交流を行なって親交を深め、その後、一緒に販売実習に出かけるのです。そのための打ち合わせに行ってきました。

#

#

#

両校を訪問して非常に素晴らしいと感じた点が2点ありました。一つは、「あいさつ」がしっかりできることです。両校とも、廊下を歩いていて前から来る生徒たち全員が、立ち止まって「こんにちは」と挨拶をしてくれました。もう一つは、校舎内の美化が行き届いていたところです。「そうじ」がしっかりなされて、ゴミひとつ落ちていませんでした。八商生も両校に負けない爽やかな挨拶と校内美化に全員で取り組んでください。

ビジネスにおいて挨拶と掃除ができることは基本中の基本です。ビジネスを学習する君たちは「あいさつ」と「そうじ」がしっかりできるプロフェッショナル人材に成長してください。



長野商業高校



桐生商業高校